

# あかるく かしこく たくましく

令和7年1月24日 No. 39 文責：校長 佐野紳二

## 令和7年度の小笠原小学校の教育活動について

今号では前号に続き、令和7年度から予定している本校の教育活動における大きな変更について書かせていただきます。いずれの変更についても、小笠原小学校に通う子どもたちによりよい教育活動を提供することをめざした変更であることをご理解いただければ幸いです。

### 変更点2 クラス替えを1～4年で実施、一部教科での担当のローテーション化

現在の小笠原小学校がそうであるように、従来から、多くの小学校では「1・2年」「3・4年」「5・6年」という2年スパンで学級編成が行われてきました。これは私（＝校長）が小学生の頃にはすでに当たり前のこととして定着していたので、かなり長い年月の間、続いてきたことになると思います。2年間、同じ仲間と過ごすことで集団としての安定が得られ、安心して学校生活を送ることができるということが大きな利点だったと考えられます。

しかしながら、時代はグローバル化が進み、より多様な価値観の中で他者と接していくことが求められる時代となってきました。学校教育の中でも、こうした時代の変化に対応して、できるだけ多くの他者（友だちだけでなく教職員、地域の方々、他の学校の児童等も含めて）と関わる中でさまざまな考え方や価値観に触れ、より柔軟で多面的な物事の捉え方ができる児童を育成していくことが求められています。また、後日改めて紹介させていただきますが、一人の固定した学級担任だけが子どもたちの指導に当たるのではなく、複数の教員が子どもの指導・支援にあたる「チーム担任制」という考え方も広まりつつあり、南アルプス市でも、市教育委員会が「チーム担任制の段階的導入」を提唱しています。



幸いなことに、本校は児童数が減少傾向にあるとはいえ、全学年で2または3クラスの学級編成が可能となっており、教員もベテラン教諭から若手教諭まで、多くの教員が所属しています。そうした小笠原小学校のもつ「強み」を生かし、これからの多様性が広がっていく社会により適応することができる児童を育成していくために、本校では今年度末から、これまで2→3年、4→5年の進級時に実施していたクラス替えを、**5→6年生を除く全ての学年（1→2年、2→3年、3→4年、4→5年）で実施することとします。**

これにより、子どもたちが小笠原小学校在籍時により多くの友だちとともに学ぶ機会ができ、より多くの教員の指導を受けることができるようになると考えています。

1月21日に行った学校集会の中で、子どもたちには「すべての学年でクラス替えを行う」という話をさせていただきましたが、子どもたちの声を受け、**5→6年生のクラス替えについては、今年度末には行わないものとし、次年度以降の課題とさせていただきます。**子どもたちに実施したアンケート調査では、全学年でのクラス替えに賛成する声が約半数、反対の声が3分の1、約6分の1がどちらともいえないという結果でした。今年度末に5→6年生でのクラス替えを見送ったのは、以下のような理由によります。

- ・高学年の子どもたちの中に、「2年間同じクラスでがんばりたい」「2年間かけてクラスの絆や団結を深めていきたい」という声が多く見られた。
- ・来年度、運動会が1学期に実施されるのに、新しいクラスで取り組むことへの不安の声があった。

全学年でのクラス替えについては、昨年度から教職員の間で議論を重ねてきて、それを受けての今回の子どもたちへの投げかけとなりましたが、経過を知らない子どもたちにとっては唐突な話になってしまったことと、それによって子どもたちに不安を与えてしまったことについては、とても反省しています。

今回、子どもたちに意見を聞く中で、一人一人が自分ごととしてクラス替えについて考えてくれたこと、また、今のクラスを「素晴らしいクラス」だと感じ、反対意見を言ってくれた人がいたこと、そんな中でも校長の考えに賛同してくれた人がいたこと、どれも校長としてとても嬉しく思いました。

クラス替えの全学年での実施については、現在のクラスに仲のいい友だちがいる子や居心地の良さを感じてくれている子、先生や友達との関係性が良好な子にとっては、賛同することが難しいことであることは十分に承知をしているつもりです。それらのことを考慮したうえで、より多くの子どもたちの成長にとってプラスであると考え、今回の提案をさせていただきました。



また、それと同時に教科指導においてもそれぞれの教員のもつ「強み」をより多くの子どもたちに還元できるように、一部の教科の中で「担当のローテーション化」を行うことを検討しています。これまでも本校では主に理科の時間に教科担任制による学習を行ってきましたが、今回、予定している「担当のローテーション化」はこれとは違い、水曜日の朝に実施している「あやめっ子タイム」において、指導者の入れ替えを行っていますが、これを教科指導にも拡大していくという考え方です。

具体的には、学年ごとに担当のローテーションを行う教科（現在のところ算数と道徳を予定）の時間割（実施時間）を揃え、単元や教材によって指導者を入れ替えることを計画しています。導入にあたっては細心の注意を払いつつ、2学期以降にあまり時数の多くない単元、教材からの実施を考えています。

とても大きな変更なので、紙面だけでの説明では十分ではないと感じています。このことについては、2月に行われる各学年の学年部会の際に、校長が直接、保護者の皆様に説明をさせていただきます。ご質問やご意見については、その際にお聞かせいただければと考えています。そこでいただいたご意見を参考にさせていただく中で、必要に応じて再度職員間で検討を行い、最終的な方針を今年度中に決定していきます。

また、文中で紹介した、南アルプス市教育委員会が提唱している「チーム担任制の段階的導入」については、紙面を改めて後日紹介させていただきます。

